

# 人事委員会事務局決算の概要

## 1 決算総括

中立的で独立した人事行政の専門機関として、職員採用試験や勤務条件の調査等を行ってきた。その中では、本市が求める人物を確保できるよう努めるとともに、意欲・能力に基づく職員の任用等により組織活力の向上を図った。また、社会情勢に適応した職員の勤務条件の確保等について報告及び勧告を行った。

平成 28 年度は、前年度に開設した職員採用試験の専用ホームページや、「京都方式」創設に伴う電子申請システム改修に伴う委託費が減少したこと、また、積極的に節減に努めたことから、歳出額は前年度より減少した。不用額が生じた主な理由は、当初見込んでいた試験の未実施などに伴う「需用費」や「委託料」の減、試験会場の変更に伴う「使用料及び賃借料」等の減によるものである。

今後とも、職員採用試験の在り方をはじめ、本市が求める多様な人物を確保するための様々な方策を検討するとともに、職員の適切な勤務条件の確保のため、より本市にふさわしい給与制度や勤務条件について検討を行い、本市全体の組織活力の向上を目指していく。

## 2 重点取組の実績

### (1) 有為な人材の採用

取組名	実績
求める人材を獲得するための広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>採用試験の専用ホームページの充実や、技術職対象の現場見学会及び大学等でのガイダンスを実施したほか、民間企業も出展する合同企業説明会へ参加するなど、市職員の仕事の魅力発信を強化</li><li>駅貼り広告の実施や職種別のメールマガジンを配信するなど、試験種別に応じて、広報手法を多様化</li></ul>
人物重視による職員採用試験の改革	<ul style="list-style-type: none"><li>人物重視の観点から、面接試験等を実施</li><li>上級 I の事務職採用試験において、1 次試験から受験者全員と面接を行う「京都方式」を創設</li></ul>

### (2) 適切な勤務条件の確保

取組名	実績
給与その他の勤務条件に関する勧告・報告の適切な実施	<ul style="list-style-type: none"><li>民間給与と職員給与の比較に基づき、国等の制度との均衡等を考慮のうえ、給与に関する報告及び勧告を実施</li><li>給与以外の勤務条件について、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの考え方等も踏まえた報告を実施</li></ul>

(単位:千円)

### 3 人事委員会事務局所管の決算額

#### (1) 一般会計

##### ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
諸 収 入	-	2	-	△ 2
計	-	2	-	△ 2

##### イ 歳出

款項	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
総 務 費	32,800	25,006	-	7,794
人事委員会費	32,800	25,006	-	7,794

4 人事委員会事務局主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	32,800	32,800	25,006	7,794
(1 人事行政)		32,800	32,800	25,006	7,794
人 事 行 政	職員採用事務, 民間給与実態調査事務など	32,800	32,800	25,006	7,794